

[年度] 平成25年度和歌山県農林水産試験研究成果情報

[成果情報名] サツマイモ「なんたん蜜姫」優良系統の選抜

[要約] 串本地域のサツマイモ「なんたん蜜姫」在来8系統から、塊根の形状が優れ、レギュラーサイズの収量が多い「②-1」と、塊根の形状が優れた「C」の2系統を選抜した。

[キーワード] サツマイモ、系統選抜

[担当機関名] 農業試験場栽培部、東牟婁振興局農業振興課 **[連絡先]** 0736-64-2300

[専門分野] 野菜

[分類] 研究

[背景・ねらい]

串本地域では、皮色が褐紅色で肉色が淡黄色、肉質が粘質で甘みが強いサツマイモの在来系統を「なんたん蜜姫」と名付けて、地方野菜として売り出す取り組みが平成22年から始められたが、農家が自家増殖により系統を維持してきたため、形質の異なる系統が混在していることがブランド化の妨げとなっている。そこで、現地から収集した8系統から収量性が高く、形質の優れた系統を選抜する。

[成果の内容・特徴]

1. 高価格帯で販売されるレギュラーサイズの収量は、農業試験場内圃場（以下、農業試験場）と串本町現地圃場（以下、串本町）の双方で、Bと②-1が多い（図1）。
2. 供試系統の糖度は約40日間貯蔵すると2.4~6.0%上昇する（図2）。またB、C、②-1は紀の川市と串本町ともに糖度が高い（図2、図3）
3. 塊根の形状は、C、②-1が長紡錘形で市場性が高いと考えられた（図4）。現地における生産者による評価もCと②-1が高かったことから、②-1とCを選抜した。

[成果の活用面・留意点]

1. 本試験では黒マルチを被覆して栽培している。
2. なんたん蜜姫は串本地域での産地化を推進しているため、栽培は同地域に限定される。

[具体的データ]

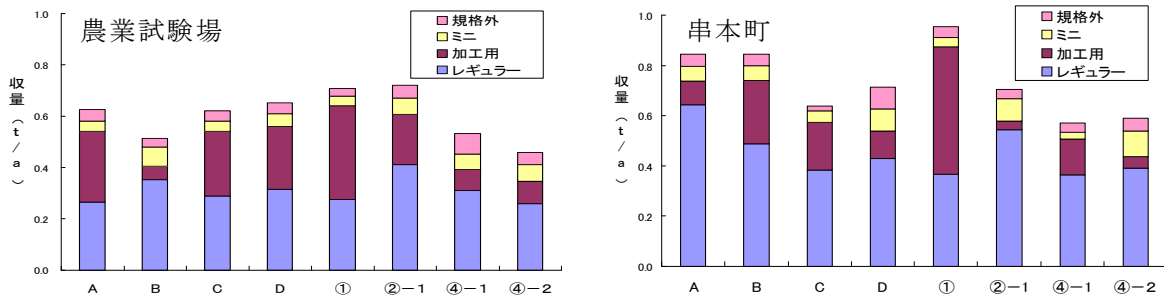


図1 供試系統の収量

注1) 栽培概要 農業試験場 うね幅 100 cm、株間 30 cm、1 条植え、栽植密度 330 株/a
 定植日：平成 24 年 5 月 16 日 収穫日：平成 24 年 10 月 29 日
 串本町 うね幅 90 cm、株間 30 cm、1 条植え、栽植密度 363 株/a、
 定植日：平成 24 年 6 月 5 日、収穫日：平成 24 年 11 月 5 日
 注2) 出荷規格（平成 24 年度）加工用：400g～、レギュラー：150g～399g、
 ミニ：100g～149g、規格外：～100g

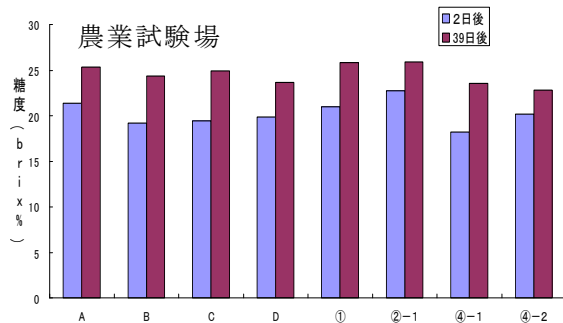


図2 場内で栽培した供試系統の糖度

注) 1 時間蒸した後、塊根の中心部 20g を蒸留水で 4 倍希釈し、粉碎後に上澄み液を測定した。図中の数値は測定値を希釈前に換算した値。

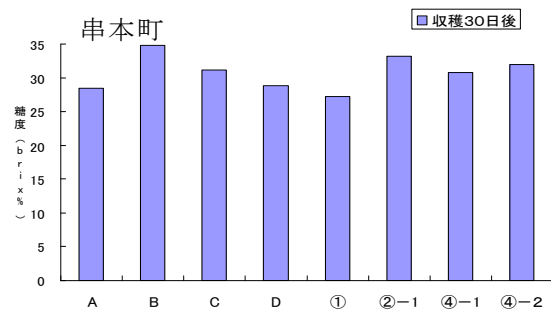


図3 現地で栽培した供試系統の糖度

注) 焼き芋にした後、塊根の中心部 20g を蒸留水で 4 倍希釈し、粉碎後にろ液を測定した。図中の数値は測定値を希釈前に換算した値。



系統 C 系統②-1

図4 供試系統の塊根の形状

[その他]

研究課題名：「なんたん蜜姫」の優良系統の選抜と多収栽培技術開発

予算区分：農林水産業競争力アップ技術開発 地方野菜の高品質多収生産技術開発

研究期間：平成 25 年度～27 年度

研究担当者：千賀泰斗、東 卓弥、塩崎博史*、谷口正幸* *東牟婁振興局農業振興課

発表論文等：なし